

和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】令和2年度実施状況調査における和光市地球温暖化対策委員会からの意見等

委員からの意見提出者 1名

箇所	意見（要約）	対応
全体	<p>◎カーボンニュートラルについて</p> <p>○二酸化炭素排出量を抑制するための概念</p> <p>菅総理は政府見解として「2050年までにカーボンニュートラルを目指す」としている。</p> <p>二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスを含んだ温室効果ガスを対象にするカーボンニュートラルを目指すもので、本市（環境基本計画）にとっても必要事項として今後の会議の方向として、SDGsターゲット同様考察していくこととしたらと思う。</p>	<p>温室効果ガス排出量のデータは、公表されるまで時間を要し、現時点では、埼玉県における排出量のデータの公表は2016年までとなっており、二酸化炭素の排出量については、令和2年度第1回会議資料で提示した数値が最新であり、排出量の動向を即時に把握していくことは難しいですが、排出削減を考察していくことは極めて意義があるものと考えております。</p>